

長住大通り商店街

どんな商店街？

長住大通り沿いに点在する会員店舗で構成されており、主な利用者は日常生活圏内の近隣住民です。

商店街会員を中心に「ながずみ夜市」「長住まつり」を開催し、南区に住む地域住民の認知向上に繋げています。また、九州産業大学や大分県玖珠町と連携した、ブランド力の強化に挑むなど、地域からの情報発信に精力的に取り組んでいます。



2025秋フェス&ながずみ夜市

防犯意識向上に街を挙げて取り組むために

1. 商店街の課題

夜市を開催することで、普段夜にはシャッターを閉めている商店に対しても明かりを灯してもらい、**地域課題でもある防犯意識**について街を挙げて取り組んでいます。また、夜市をきっかけに、普段商店街に触れる機会の少ない働きざかりの親御さんにも商店街の魅力を発見してもらい、リピーター獲得につなげたいと考えています。



2. 「ながずみ夜市」を開催

このイベントを14年続けてきて、数年前に初めて花火を上げ、「長住大通り商店街」の認知度向上につながったと実感したため、今年も引き続き実施することとしました。当日は、例年のイベント内容に加え、相撲部屋とのコラボや親子木工体験、新米試食会などを実施しました。



3. 効果があったと思われること

商店街会員にながずみ夜市の継続について確認したところ、87%が継続を望むという回答を得ることができました。

また、ながずみ夜市当日の来客数を確認したところ昨年よりも売り上げが**1.3倍～1.5倍**になったとの回答を得ることができました。

4. 来街者の声・会員さんの声

○来街者の声

- ・長住が花火を上げられるくらい元気になってうれしい
- ・今後もぜひ開催してほしいので、会員さんたちを応援したいです

○会員さんの声

- ・予想以上の人出で、是非続けてほしい。との声が多かったです
- ・地域住民からの期待が大きいため、さらなる発展を目指していきたいです



相撲部屋との交流の様子

5. 反省点や今後の取り組み

本年度から相撲という新たなジャンルとコラボできたことにより、明らかに来場者が増え、長住のブランディングに一役買っていると実感しています。また、大分県玖珠町との長年の交流をさらに発展させられる希望も、ながずみ夜市をきっかけに見出せそうです。そして、地域にとっても防犯、防災、地域コミュニティの核となりつつあり、始まったきっかけを大事にしながさらさら発展できるチャンスであると前向きに捉えています。